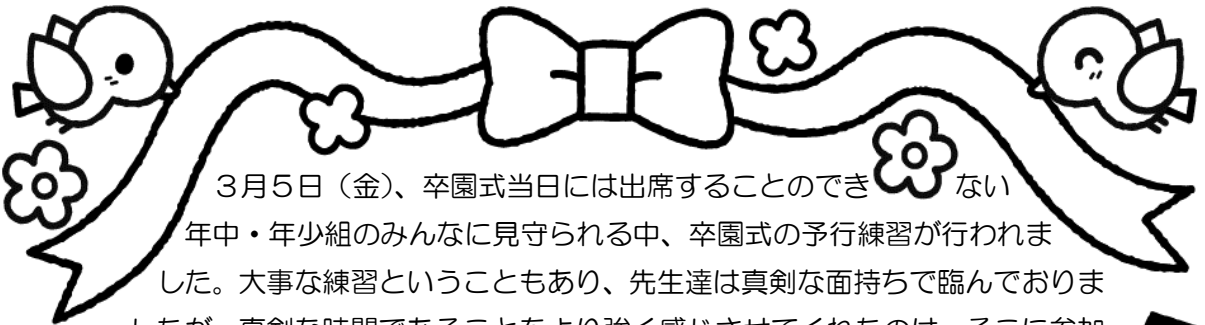


しみずっこ新聞

令和3年3月発行 第138号 清水学園付属幼稚園

今年度も、一年の終わりの時期を迎えました。3学期は、登園する日が少ないわりに様々な活動や行事があり、先生も子ども達もバタバタの毎日をすごしてきましたが、この慌ただしい時を『あ・うんの呼吸』で乗り越えるクラスのチームワークこそが、1年を通じ築いてきた“絆”だと思えます。 コロナウイルスで始まった令和2年度は、スタートが遅れたり・行事が中止になったり…と、それだけを聞けばマイナスのイメージの1年だったかもしれませんが〈そんな年だからこそ、残念な年にはさせたくない！〉という先生達の思いがたくさん詰まった1年だったのではないかと思っています。絶対に忘れない、忘れられない1年…。保護者の皆様も含め、みんなががんばった1年でした。【本当にありがとうございました☆】



3月5日（金）、卒園式当日には出席することのできない
年中・年少組のみんなに見守られる中、卒園式の予行練習が行われました。大事な練習ということもあり、先生達は真剣な面持ちで臨んでおりましたが、真剣な時間であることをより強く感じさせてくれたのは、そこに参加する子ども達の一生懸命な姿でした。【年長さんの立派な姿…年中さん達にはどう映ったのだろう？】予行練習の次の日、年中のK君に「年長さんの予行練習どうだった？」と尋ねてみました。すると『すごくかっこよかった！僕もあの歌、うたってみたいと思った。』という、嬉しい返事が返ってきたのです☆今年度は運動会が学年毎になったり、発表会がクラス毎になったり、作品展の共同制作がなくなったり…と、年長さんの姿を見せてあげる機会が少なかったことを、正直、心配しておりました。だからこそ卒園式の予行練習だけは、何となくしてでも下の子達に見せてあげたいと思っていたのです。年長さん達が教えたかった気持ち・引き継いでいきたかった姿は、しっかりと、年中さん達

に伝わっていましたよ！！ 清水のみんなで必死にがんばって

きた一年でしたが、こんなに素晴らしい子ども達と、同じ時を・同じ場所ですごすことができたこと…それだけで幸せだったと思っています。



☆ お別れ会を開きました ☆



3月10日（木）、幼稚園のみんながホールに集合して『お別れ会』を開きました。今年度最後の大集合です！ 年長さんをはさむように座った年中組・年少組の間に、拍手で迎えられながら入場した年長さんが座りました。

【各学年の出し物は…】

- 年中組 → 紅蓮華（鬼滅の刃）に合わせたダンス と 年長さんへのメッセージ
【憧れの年長さんが運動会で踊ったダンスをコピーしました！】
- 年少組 → バナナのダンス と 年長さんへのメッセージ
【おそろいのバナナのベルトをつけて、元気いっぱい踊りました！】
- 年長組 → 卒園式でうたう歌の合唱 と 先生方一人ひとりへ、
心の込めたメッセージと手作りのお花のプレゼントがありました☆

どの学年の出し物を見ている、これまで一緒にすごした毎日の思い出があふれ
涙涙の先生達でありました。

☆ 年長さんから幼稚園へ ☆

- ◇ 今年の年長組・卒園製作は【下駄箱のクラス表示】です。
- ◇ 教室・職員室で使う【カレンダー】も、年長さんみんなで作ってくれました。
～ 4月から使っていきます。 「年長さん、ありがとう！！」 ～



☆ 退職の先生 と 新しい先生 ☆



平成29年4月から4年間、『わくわくさん』と未就園児教室『バンビ』を担当しておりました“杉山 智枝子先生”が、3月いっぱいをもって退職されます。
4月からは、以前、清水幼稚園に勤務しておりました“鈴木 さつき先生”が復帰され、担当することになります。 どうぞよろしくお願いいたします。

☆ 令和2年度の『しみずっこ新聞』は、今号が最終号となりました。（2月は、『しみずっこ新聞』を発行するタイミングを逃してしまいました。気持ち的には、この最終号が、2月・3月の合併号です！）保護者の皆様とは、お顔を合わせる機会が少ない1年となり、なかなかお話しすることができませんでしたね。【子ども達の面白いエピソード…お伝えしたかったです！】【お母さん方の悩み…聞いてあげたかったです！】【たわいもない世間話…たくさんしたかったです！！】 今年のこの愚痴が、何年か先には笑い話になることを願いながら、まずは…無事に今年度を終了できることに感謝して、4月から始まる新しい年度も、ポジティブに頑張っていきたいと思っています。ご愛読ありがとうございました(^o^) 富田

